



キッズサッカーフェスティバル2016 写真館

フェスティバル模様は、岩手朝日テレビで8月13日(土)の午前 10 時 50 分から放送されます。

日時：平成 28 年 7 月 23 日(土)～24 日(日)
会場：いわぎんスタジアム(盛岡南公園球技場)
主催：公益社団法人岩手県サッカー協会／公益財団法人盛岡市体育協会
共催：株式会社岩手朝日テレビ
主管：公益社団法人岩手県サッカー協会 キッズ委員会
後援：岩手県教育委員会／盛岡市／財団法人岩手県体育協会
協賛：みちのくコカ・コーラボトリング株式会社
協力：ミズノ株式会社

大会特別ゲスト：平瀬智行さん(元日本代表、現ベガルタ仙台アンバサダー)
参加者総数：1,053 名 (、U-10 64 チーム 769 名、U-8 40 チーム 284 名)
運営スタッフ：ユース審判・チーム帯同審判、キッズ委員会キッズスタッフほか

1 日 目 ◆7 月 23 日 (土)

- ・U-10 の部 予選リーグおよび決勝トーナメント進出決定戦 (8 人制ゲーム、64 チームを 16 グループ分け、グループ上位 2 チームが 2 日目の決勝トーナメント進出決定戦を行う)

U-10 開会式の様子



U-10 試合の様子



U-10 試合の様子



2日目 ◆7月24日(日)

- ・U-8の部 リーグ戦(5人制ゲーム、40チームを10グループ分け)
- ・U-10の部 決勝トーナメント

U-8開会式閉会式の様子



U-8開会式閉会式の様子



U-8 試合の様子



U-8 試合の様子



U-10 決勝トーナメントの様子



U-10 表彰・閉会式の様子



【2日間を終えて】..... キッズサッカーフェスティバル2016総括

<全体統括者（瀬谷圭太 キッズ委員会委員長）のコメント>

キッズサッカーフェスティバル2016に参加いただきありがとうございました。皆様の協力のおかげで無事に進めることができました。

今回のフェスティバル全体を通して見ると、元気のある2日間だったと思いました。どこでもにぎやかな姿が見られました。きっとこれは、サッカーを楽しもう、サッカーが大好き、いわぎんスタジアムでサッカーができてうれしい！などの気持ちがあったからだと思いました。

運営責任者として見た2日間を総括したいと思います。

1 U-8

U-8では、キッズの本質である「サッカーを楽しむこと」をたくさん感じてもらいたいと思いながら試合を見ました。

見る視点として、開会式でも話した

あいさつ

アイコンタクト

あくしゅ

ありがとう

あきらめない

の5つの「あ」を意識しました。

どのピッチでも、歓声が上がリ、楽しそうであり、さらに真剣なまなざしでボールを追いかけている姿がたくさん見られました。

その中で、あきらめないでボールを追いかける姿が良いなと思いました。

サッカーをしたい、勝ちたい、シュートしたいなどサッカーを楽しむ本質が現れる場面だったと思いました。U-8年代としては、この気持ちが大切だと思います。

これからもあきらめない選手にはどんどんグリーンカードを出したいと思います。

最後に、せっかくなので、U-8にも課題を。「考えてプレー」することです。「何のために〇〇をするのか」を考えてプレーすることで、もっと成長します。各チームにこれができる素晴らしい選手がいました。ぜひ、チームの中で共有して、考えられる選手になってほしいですね！

2 U-10

U-10では、3つの視点を持って見ました。これは毎年の視点です。

1つ目は、キッズの本質である「サッカーを楽しむこと」と「本気の勝負」を、子どもたちに、たくさん体験してもらいたい、と思いながら試合を見ました。

2つ目は、4年生までの年代で、どんなことができて、どんなことが課題であるかを、指導側として、これから先を見据えるための視点を持って見ました。

3つ目は、オン・ザ・ピッチでも、オフ・ザ・ピッチでもグリーンカードに値するプレーがたくさん出るかな?と思いながら見ました。

さらに、今年は、子どもたちに分かる言葉として開会式で

全力

協力

感謝

感動

の話をしました。開会式で誰かが話したことは、聞いていないかな?そうは言っても、運営責任者としては、成長する場にするために心に残る言葉を残そうと思い、この言葉を言いました。

試合の合間などに、話しかけると、「全力」のことを話す子どもたちが多かったです。

(1) サッカーを楽しむこと・本気の勝負

今回のフェスティバル、初日の予選リーグでは、拮抗した試合が多かったです。その拮抗した中で、本気の自分のプレーをし、本気の相手との勝負を通して、さらに上手になったり、もっとうまくなろうという気持ちを持ったりという場面をたくさん見させてもらいました。特に、ボールを持ったときに、スペースを見つけると、ぐいぐいとチャレンジしていく姿や、周りを見て、仲間を信じてパスを回す姿などは、上手だなと思いながら見ました。「もっとうまくなりたい!」を感じたのは、プレーの節々に、「自分はこうしたかった」と口で言ったり、身振り手振りをしたりする子がいたことです。本気の勝負をする中で、子どもたちは成長しているんだと感じました。

(2) できることと課題

①できたこと、よかったこと。

- ・ボールを持ったときに、ゴールに向かうプレー。

ドリブルで突破を試みるプレーが良かったです。また、ゴール前で落ち着いてまわりの仲間にパスをする場面も見られました。

U-8でも見られましたが、何のためのコントロールか、ということを意識する選手は、シュートにつながるプレーをしていました。

- ・相手に取られないプレー

前に進みたいけど、ドリブルのコースに相手がいる。そのときに、ターンをして次のプレーの選択をしていくというプレーがいくつか見られました。この年代で、顔を上げてパスコースを探すこともできる!がスタンダードになると良いと思いました。スペースがなくてうまくいかないこともあったようですが、フェイントのチャレンジもたくさん見られました。チャレンジすることが次につながるので、どんどん練習してたくさんの次のプレーにつながるフェイントにトライしてもらいたいです。

- ・ゴールキーパー

試合の中でキーパーの位置取りとキャッチが良いなと思いました。1対1の場面でのシュートストップの場面をたくさん見ました。最後までボールから目を離さずにとめようとするところがトレーニングのたまものだと思います。

育成年代です。多くの子にゴールキーパーを経験してもらいたいとも思います。良いプレーを参考に、多くの子にチャレンジしてほしいですね。

- ・ポジションの役割

決勝を見ると、自分のポジションの役割を果たしている印象がありました。47FAチーフインストラクターの出口さんのコメントによると、「小学校5、6年生でできることが、この年代でもやろうとして、できている場面が多いことが素晴らしい」と有りました。8人制サッカーの利点を生かし、みんなで攻撃、みんなで守備をすることが素晴らしいと思いました。

キッズリーダー講習会でもお話ししていますが、「自分と仲間と相手のサッカー」にするために、協力する姿をこれからも突き詰めてほしいですね。

②これからの課題。

★キッズはサッカーを楽しむことがメイン。しかし、楽しむためには、技術の向上ももちろん必要。

これからのキッズを考えて、4年生には取って課題を考えました。

- ・ファーストタッチ

自分のもっとも蹴りやすいところに、いつでもどこでもコントロールできるようになってほしいと思いました。

・ボールをもらった後のプレー

もらって満足、ではなく、次のプレーにつながるが必要かなと思いました。もらった後にどうするかを考えることは、意識の問題。いつでもどこでも考えてプレーする習慣が有ると良いですね。

(3) グリーンカード

今回は、本当にあいさつがすてきな選手がたくさんいました。ピッチに入っていくとき、スタンドで見ているとき、会場を後にするとき、いつでも“あいさつ名人”がたくさんいました。その様子を見た、たくさんの来賓の方々や関係者から、お褒めの言葉をいただいたこと、私たちもうれしかったです。

決勝で、審判が良いプレーに積極的にグリーンカードを提示していました。そのような場面から、子どもたちはクリーンなサッカーが素晴らしいと思ってくれます。審判団の方々にも感謝です！

また、ボールを拾ってもらったときに「ありがとうございます」とすぐに言える選手もすてきでした。感謝の気持ちですね。準決勝の試合。暑い中、疲れている中、子どもたちは決勝めざして本気の勝負をしている中、私が拾ったボールに対して、「ありがとうございます」と大きな声で言えたチームがありました。すばらしいと思いました。このような心がけがあることが、成長につながると思います。また、これからのサッカー人生にプラスになると思います。

このような選手が増えるように私たちももっとほめていきたいと思います。

U-10 キッズの、参加したみなさんに、「グリーンカード！」です！

キッズ年代は、育成年代でも「楽しさ」が特に大切な年代です。もちろん、上達していくように指導することもとても大切です（だからこそ、課題を上記しました）。しかし、技術同様に、全力でやること、協力すること、感謝すること、まわりに感動を与えられたり、自分たちが感動させられたりするくらいに取り組むことが大切だと子どもたちのプレーを見て思いました。

最高の芝生のピッチで、キッズのみんなが最高のプレーができたこと。これは、たくさんの方々のお力添えがあったからできたことでした。

特別ゲストの平瀬智行さんには子どもたちへの声かけや、一緒にサッカーを楽しむこと、水分補給の大切さのセミナーなどたくさん岩手の子どもたちのために力をいただきました。ありがとうございます！（一緒にサッカーをしたり、握手やサインをもらったりした選手、良かったですね！）

盛岡市体育協会との共催で運営したキッズサッカーフェスティバル。みちのくココ・コーラ様、岩手朝日テレビ様をはじめたくさんの方々のお力添えのおかげで、このキッズサッカーフェスティバル2016を開催することができました。おかげさまで、子どもたちの笑顔に出会うことができました。この場を借りて厚く御礼申し上げます。ありがとうございました。

<競技運営 審判部（千葉晃徳 県南地区キッズ部会長）のコメント>

各チーム帯同審判員、ユース審判員、キッズ委員会審判部の皆様、2日間大変お疲れ様でした。

特に13名のユース審判員は、審判業務だけでなく、運営スタッフとしても積極的に協力してくれました。準決勝2試合と3位決定戦の大事な試合の割り当てを任せても十分にこなしてくれました。今後も審判に限らず、サッカーというスポーツに関わって欲しいと願っています。

<フェスティバル担当（新沼真介）のコメント>

土曜日、日曜日の2日間で行われたキッズサッカーフェスティバル2016

天候にも恵まれ、子どもたちの活気に満ちあふれた顔が印象に残っています。キッズ委員会でも、グリーンカードをたくさん出す、あいさつ、あくしゅ、アイコンタクト、ありがとう、あきらめないの”5つのあ”をモットーに子どもたちを楽しませるお手伝いできたのかなと思います。

U-8では楽しくワイワイとなごやかな雰囲気の中、みんな笑顔で楽しくサッカーをしていました。開閉会式のあいさつも大きな声で元気でVery Good!!でした。

U-10では、決勝トーナメントに残るチームは技術的にも素晴らしく、完成されてきている印象を受けました。しかし課題も出てきたと思います。その課題を克服し、さらに高みを目指して練習に頑張ってください。優勝したチームも、これで満足することなく、練習してください。ここがスタートです。岩手の未来を担う皆さんのこれからの活躍を期待しています。